

G20 関連イベントで第2回国際トップテンが発表されました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)が経済産業省の委託を受けて取り組んでいるトップテン事業に関連し、2019年6月、国連大学で開催されたG20(20カ国・地域)関連イベント「エネルギー効率化への投融資に関わるグローバルサミット」(国際省エネ協力パートナーシップ(IPEEC)主催)において、「省エネ技術・事例トップテン第2回国際リスト」が同事業事務局の中国から発表されました。



Mr. Penggao Zhao (NDRC)によるプレゼン風景

1. 参加目的

G20の公式サイドイベントである“Global Summit on financing Energy Efficiency, Innovation & Technology”がIPEEC、UNEP Finance Initiativeらと共催で、東京渋谷の国連大学において開催されました。プレナリーセッション2では、IPEECトップテン事業報告が行われました。これは、ECCJがMETIの受託事業として、2014年度以来取り組んできた事業で、今回の第2回国際リスト(日中米仏合わせて40案件)は、第1回(2016年発表)以来3年ぶりの作成・発表になります。発表者はトップテン事業の事務局をつとめる中国(NDRC・CQC—正式名称を記載)です。ECCJは、日本側の対応窓口として本イベントに参加しました。本事業に関しては、今後とも中国と連携しつつ、活動の拡大に向けて努力して行く予定です。今回日本から選ばれた案件は、以下の企業です。

<建築部門>

優秀事例案件：三重大学、日建設計/足利病院、大成建設、ミサワホーム

最良技術案件：東芝ライテック、三菱電機、東芝キャリア

<産業部門>

優秀事例案件：シャープ/亀山、レンゴー、オムロン、三菱ふそうトラック・バス

最良技術案件：三菱重工業、ニチアス、安川電機

2. イベント全体の概要

- ・来賓挨拶 METI竹谷氏他
- ・基調講演 A.ロビンス(Rocky Mountain Institute)氏他
- ・プレナリーセッション1 テーマ：国際金融機関による直近世界情勢の分析
- ・ハイレベル円卓会議 A:金融革新技術、B:エネルギー効率化及びクリーンエネルギーへの投融資
- ・プレナリーセッション2 テーマ：G20エネルギー移行WGと、ゲストの戦略対話、(中国NDRC Mr. Penggao Zhaoが、トップテン事業の意義と、第2回トップテンリストを発表。)